



さくらネット

令和8年10月21日

生徒会新体制発足～リーダーのバトンは3年生から2年生へ～

本年度も残り半年を切り、これまで生徒会活動を牽引してきた3年生から、リーダーのバトンが2年生に渡されました。10月6日（火）には生徒会長をはじめとする新総務役員が、10月16日（金）には新専門委員長が選出されました。本日の任命式を経て新体制となった生徒会の新たな挑戦に期待しています。

それぞれの選挙においては、各候補者（応援演説者）の真剣な姿勢が、いい緊張感とともに伝わってきました。話を聞く側の姿勢も立派でした。また、この選挙の準備・運営に取り組んだ選挙管理委員の仕事ぶりも素晴らしかったです。一人ひとりがそれぞれの立場できちんと責任を果たした選挙でした。生徒会活動は役員だけが行うものではありません。これからも、一人ひとりが役割を果たして、みんなで新しい勝山中学校生徒会を盛り上げていってほしいと思います。



芸術鑑賞会「狂言歴史講座と公演・所作体験」

10月15日（木）、狂言師の田賀屋夙生様、島田洋海様をお迎えし、芸術鑑賞会を開催しました。まず田賀屋様より狂言の歴史について教えていただいた後、狂言「柿山伏」を鑑賞させていただきました。その後は、各学年ごとに所作の体験をさせていただきました。（写真下「そろり、そろり…」）

日本の伝統的な芸能の一つである狂言ですが、普段触れる機会はなかなかありません。その意味で、今日の芸術鑑賞会は大変貴重な機会となりました。我が国で大切にされてきた文化、そしてそれを支える方々の誇りというものに触れることのできた、素晴らしい時間でした。

田賀屋夙生様、島田洋海様、本当にありがとうございました。

また、この度の鑑賞会のお世話をいただきました、真庭市スポーツ文化振興課、真庭エスパス振興財団の三宅様にも心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



みんなで「ありがとうの虹」をかけよう! ～生徒会人権啓発の取り組み～

現在、生徒玄関前に「ありがとうの虹」がかかっています。これは、生徒会前執行部が企画した人権啓発の取り組みの一環で、周りの人への感謝の言葉を記したカードを一つに集めているものです。4週にわたる取り組みで、毎週感謝を伝える対象を広げていっています。クラスごとに色を変えており、今月末には7色の虹が出来上がるようになっています。心温まるきれいな虹の完成が楽しみです。

生徒会役員の皆さん、素敵なアイデアをありがとう。

